

第36代 ミス富士山 インタビュー



● 稲葉 心春さん

● 馬飼野 朱李さん

● 自己紹介をお願いします

第36代ミス富士山グランプリの馬飼野朱李です。現在、慶應義塾大学の2年生です。名前のようにあかるく、楽しく、富士宮市を盛り上げていきたいらと思っております！静岡のお茶が大好きで、休日には茶農家さんを訪ねて話を聞いたり、新しい淹れ方に挑戦したりしています。

● 第36代ミス富士山の稲葉心春です。現在、静岡県立大学の3年生で、主に中華圏について学んでいます。チャダンスをやっていたので、元氣さと体力には自信があります！

も、すべての山車が集まり、一斉囃子や共同踊りを披露する「共同祭事」は、秋空の下で非日常を感じられる特別な時間だったと今でも思い出します。

● もちろんです！祖父も父もお祭りが大好きで、その血を受け継いだ私は毎年11月を楽しみにしています。幼い頃は、昼間は友達と、夜は家族と一日中楽しんでいました。それほど、私にとって富士宮まつりは特別な存在です。

● 今まで富士宮まつりを見に来たことはありますか？

はい！私は小学生の頃、実際に秋まつりに参加してました。夏になるとお囃子と踊りの練習が始まり、秋が近づくにつれて、まつりの空気が町全体に広がっていくのを間近に感じていました。中で

動かされる場面です。そして何より、真剣にぶつかりながらも敬意を忘れない姿が、私はとても好きです。

● はい！小学生の頃、初めて囃り合いを間近で見たとき、その迫力に口を開けたまま見入ってしまったのを覚えています。今年は、各町の山車が凝らした装飾やお囃子の音色など、町ごとの「らしさ」も贅沢に楽しみなながら、一緒に盛り上がりたいです。

● 富士宮まつりには、山車の迫力だけでなく、人と人との距離の近さがあります。太鼓の音にふと心が弾み、町を歩いていると、誰かが声をかけてくれる。踊っている人と目が合う。屋台のにおいに誘われて立ち止まる。そんな瞬間の積み重ねが、この数日間を特別なものにしてくれます。今年も町のあちこちに笑顔と音があふれて、きつとワクワクする時間になると思います！私もミス富士山として、皆さんと一緒にまつりを盛り上げてまいりますので、まつりの空気を全身で感じ、ぜひ足を運んでみてくださーい！

● 富士宮まつりは、地元の人々が一体となって盛り上がる温かいお祭りです。私にとっても富士宮で育つてよかったと自慢に思える大切な行事です。今年もミス富士山として関われることを嬉しく思います。山車で活躍する方も応援する方も、全員で熱い時間を楽しみましょう！

磐穂 阿幸地 囃子長より

囃子長 後藤 啓一

阿幸地のお囃子は年間を通して毎週木曜日に練習を行っています。お祭り直前である10月にはほぼ毎日練習日を設け、本番に向けて囃子方で一丸となつて技術を磨いています。

● 私も幼少期から磐穂阿幸地の囃子方として富士宮まつりに参加しており、今年で囃子長としての参加は2年目を迎える事となりました。

阿幸地の囃子方は富士宮まつり以外にも、夏の祭りや文化祭、敬老会などでも演奏活動を行っています。

● このお囃子活動が、子供達への「まつり文化の継承」や「地域との絆づくり」に繋がっていくと私は信じています。

● これからも諸先輩方が築いてきた富士宮まつりや歴史を伝える伝承者として、子供達にはお囃子の技術以外にも「大切なもの」を伝えて行きたいと思っています。

湧玉 大中里 囃子長より

囃子長 金森 優太

大中里は参加区の中で一番西の地区であり、平成元年から富士宮まつりに参加しています。

● 山車には「牛若丸」を祀り、龍の装飾が特徴です。囃子は福地区から学んだのが始まりであり、大中里にしかない魅力ある囃子を磨いてきました。また、囃子長として子供が憧れる勇壮な囃り合いを担う責任を痛感します。

私が子供の頃は勇壮な囃り合いに憧れ、涙目になりながら練習したことを思い出すとともに初めての囃り合いでは感無量の思いがありました。

● これらの経験が私の今の富士宮囃子に対する誇りと責任につながっているように感じます。今年の富士宮まつり秋宮でも子供が憧れ、観衆が魅入る囃子にしていきたいと思えます。ぜひ、大中里の囃子を聴いていただければと思います。



富士宮まつり瓦版

発行 富士宮まつり青年協議会
http://akimiya.com
発行責任者 持田 元
編集責任者 田中 剛史
校正 広報部 会
印刷 三扇美術印刷株式会社

世界文化遺産富士山の町 富士宮へようこそ！



富士宮まつり青年協議会
会長 持田 元

令和7年度、富士宮まつり青年協議会の会長を務めます。咲花の持田 元です。私の出身である咲花は、親名を持たない唯一の祭り組です。これは、親名制度が定まる以前から活動していた組であることを意味しています。天保三年(1832年)と記された咲花の祭礼通帳が残されており、先人達は江戸時代からすでに町組織で祭りを行っていました。明治の中頃には、神田川以西に「湧玉」以東に「磐穂」以東に「咲花」という祭り組織が存在していたとされています。明治44年には、川西から立松山・寿・高嶺の四組、川東から磐穂・咲花の二組が加わり、六組で祭礼を行ったと伝えられています。咲花は190年以上にわたり祭りへの思いや伝統を受け継いできました。そんな背景を持つ咲花出身の会長として、富士宮囃子

をはじめ伝統や文化を大切に守りつつ、今の時代に合った祭りの形も探していきたいと考えています。安全への配慮はもちろんですが、老若男女が自然と惹かれるような雰囲気づくりや、各区のつながりを深める交流を通じて、まつり全体の魅力をさらに広げていけたらと思っています。まつりは、地域の人々が心を寄せ合い、世代を越えてつくり上げるものです。まつりに関わるすべての人達が誇りと楽しさを感じられるよう、皆さんと一緒に盛り上げたいと思っています。

● 今年の富士宮まつりが、多くの人にとって心に残るものになるよう、青年協議会役員の仲間達と力をあわせ精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

祭りへの想い



富士宮まつり青年協議会
顧問 森 和也

9月に入るとあちこちからお囃子の音色が聞こえてきます。

● 一生懸命練習に励む子どもたち、山車・屋台にたずさわり意気揚々とした若者達、先人から託された半纏に緊張と喜びを噛み締めながら準備に励む青年達。

● 大人から子供まで年齢関係なく楽しく踊りの輪を作り、祭りに向け提灯の明かりが灯され、街全体がにぎわい活気づいていきます。

● 始まってしまえばあっという間に終わってしまうけれど、みんなやり遂げた達成感、喜び、悔しさ、色々な想いが渦巻いて、次の祭りを待ち侘びてしまう祭人達。

● そんな富士宮まつりや地域のみんなで盛り上げ、祭りの楽しさ、自区への誇り、伝統を次世代の若者に伝えていきながら、人々の交流や繋がりが深まることを望んでいます。

● 私の好きな踊りの中の一小節にあるフレーズ

「歌いつなごう何代までも
孫が歌って子が踊る」

● この歌のように富士宮まつりの伝統を親から子、そして孫へとつなげていきたいと思っています。



本宮

ほんみや
本宮
大社前目抜き通りに
山車屋台が集結！
11月4日(火)
PM4:00~

瑞穂 瑞穂組

宮まいり 磐穂 一番くじ
青年長 戸嶋 良



● 磐穂瑞穂組は富士宮市役所東側に位置し、瑞穂区民館に会所を構え、初日と中日の2日間に山車で自治区内を引き回しを行い、囃子・踊りを披露する事で五穀豊穣を御祝いしています。

● 100周年を優に超えた山車は、大正7年に区民の有志により「せり上げ式三層」の山車として建造され、梃子方を中心に伝統ある山車を守り受け継いでいます。

● 祭の花形であるお囃子は諸先輩方の指導の下、青年を中心に練習に精進すると共に、次世代を担う中学生・小学生には鉦を含め熱心に指導する事により瑞穂の囃子を伝承しています。

● 囃子方による喧嘩囃子、山車・屋台をミリ単位で操る梃子方、そして祭に花を添える踊り方、令和を彩る富士宮まつりをぜひご堪能下さい。

湧玉 貴船

宮まいり 湧玉 一番くじ
青年長 伊東 竜洋



● 湧玉貴船の富士宮祭りの歴史は、大正二年に屋台が作られ翌年三年より寿町として参加しております。

● その後、貴船との合併により湧玉貴船の屋台として令和七年現在まで、百一年間大切に受け継がれて来ましたが、

● 年々様変わりする様式ですが、近年では当時の祭り風景を復元すべく、屋台の大提灯前側に「貴船」、後側を「寿」と筆を入れ当時の装飾を復元して参りました。

● 囃子では各方面にご助力頂き、一度は失われてしまった三味線の音色を再現し、当時の粋な祭り模様を思いを馳せながら次の世代に引き継ぐべく継承を考えております。

● これまでの長きに渡り受け継がれて来た富士宮祭りへの思いを基に、安全と五穀豊穣への感謝の思いを込め、湧玉貴船一同精一杯盛り上げて参ります。

3日月

富士宮まつり 競り合いスケジュール

時間	対戦区
11:10	9 木の花×阿幸地
11:15	3 神賀×貴船
11:30	7 福地×二の宮×宮本
12:00	48 大和×瑞穂
12:35	49 高嶺×浅間
13:20	37 瑞穂×咲花
13:40	1 二の宮×城山
14:05	50 常磐×浅間
14:25	2 貴船×大中里
15:20	5 神立×高嶺
15:45	11 阿幸地×瑞穂
16:45	20 松山×高嶺
17:25	12 大中里×羽衣
18:00	15 城山×松山
18:20	4 神賀×福地
18:30	39 神田×浅間
18:30	47 咲花×大和×瑞穂×阿幸地
19:00	8 神立×福地×宮本
19:05	51 常磐×木の花
19:10	27 高嶺×神田
19:15	15 城山×貴船
20:00	21 松山×羽衣
20:35	6 福地×福地

宵宮

よいみや
17:00~21:00

4日火

時間	対戦区
8:20	10 阿幸地×咲花
9:20	17 木の花×城山
9:45	45 大和×咲花
11:00	46 大和×常磐
11:40	15 城山×二の宮
11:40	38 羽衣×神賀×福地
12:45	13 貴船×松山
13:00	44 大和×浅間

時間	対戦区
13:10	32 神田×瑞穂
13:20	36 咲花×常磐
13:45	25 高嶺×二の宮
14:15	43 常磐×常磐
14:15	15 城山×瑞穂
14:20	32 神田×松山
14:40	40 浅間×二の宮
17:10	27 咲花×宮本

時間	対戦区
17:10	28 城山×大和
17:10	30 神立×木の花
17:10	23 二の宮×高嶺
17:10	31 神賀×常磐
17:10	16 瑞穂×神田
17:10	33 貴船×浅間
17:10	24 福地×大中里
17:10	26 羽衣×琴平

時間	対戦区
17:10	35 松山×阿幸地
18:15	31 咲花×瑞穂
18:15	33 神立×大和
18:15	35 常磐×木の花
18:15	29 神田×浅間×高嶺×阿幸地
18:15	22 神賀×大中里
18:15	26 松山×宮本
18:15	27 城山×二の宮

時間	対戦区
18:15	24 羽衣×貴船
18:15	16 福地×琴平
19:10	34 木の花×大和×常磐×咲花
19:10	19 大中里×羽衣×貴船×神賀
19:10	15 城山×瑞穂×神田×浅間
19:10	27 二の宮×松山
20:10	27 高嶺×高嶺



駐車場ののご案内 P 神田川観光駐車場(有料) 6:30~22:00 P 駐車場(有料)

5日水

時間	対戦区
11:20	14 高嶺×木の花
13:05	27 高嶺×常磐
13:10	41 浅間×木の花
14:00	41 浅間×城山
14:30	45 大和×木の花
15:30	32 神田×城山
15:55	27 高嶺×青年協
16:00	18 木の花×常磐
17:00	42 浅間×大和
18:00	51 常磐×大和



お知らせ

- 山車・屋台の運行状況や気象条件等により、本紙掲載の競り合いが予告なく時間変更又は中止される場合がありますので、ご了承下さい。
- 浅間大社境内や競り合い会場付近は大変混雑いたしますので、お足元には十分ご注意ください。
- 山車・屋台には、許可なくお手を触れたり運行の妨げにならないようお願いいたします。
- 競り合い中は大変危険ですので、絶対に山車・屋台にはお近づきにならないようお願いいたします。

各区の会所
MAP

**祭典本部で
マイ枀販売!**

各区の会所で地酒が楽しめます!

マイ枀
¥1,000